

平成31年（令和元年）度 事業報告

法人本部

経営理念

児童をはじめとする地域社会の人々の生活を支援することによって、自他共に支え合いながら心豊かに生きていくことができるような社会の実現を目指します。

事業報告

- ・法人の組織運営については、前年度末に実施された法人監査による指摘改善事項について是正し結果報告を行い、法令及び定款に基づいた適正な運営の監査体制を充実させ、組織ガバナンス強化に努めました。
- ・児童発達支援・放課後等デイサービス事業においては、より効率化をはかるため二拠点区分を統合し、それに伴い閉鎖となるイタスキズ 初所と北区障がい者相談支援センターとの事業所の相互移転を行いました。
- ・保育の無償化の実施に伴い、給食費及び諸経費納入を利用者口座振替に切り替え、事務作業の効率化、軽減化を図りました。
- ・法人全職員を対象とした職員研修（マナー講座）を開催し、コミュニケーション能力のスキルアップを図りました。
- ・大規模地震による津波発生想定避難訓練を行い、職員各自の検証結果を集計し、災害に対する危機意識の向上と避難計画の策定の重要性を確認しました。
- ・「新型コロナウイルス」の感染拡大予防についての注意喚起を行い、行政通知に基づいた運営体制について各管理者と随時協議を行い、利用者と職員の感染予防に努めました。

理事会開催報告

①第1回理事会

- ・開催日時 令和1年5月28日（月）午後6時
- ・出席者 理事6名 監事2名 事務局員
- ・議案
 1. 平成30年度事業報告
 2. 平成30年度決算報告
 3. 新役員案について
 4. 役員報酬規程の変更について
 5. 定時評議員会の招集について

- ・報告事項
理事長専決事項執行状況

②第2回理事会

- ・開催日時 令和2年3月24日（火）午後6時30分
- ・出席者 理事5名 監事2名 事務局員
- ・議案
 1. 経理区分繰入金支出・収入について
 2. 令和2年度事業計画案
 3. 令和2年度予算案
 4. Ikutasu kids Next の統合に伴う閉鎖について
 5. 北区障がい者相談支援センターと Ikutasu kids Next の移転について
 6. 平成31年度補正予算案
 7. 給与規程の一部（給料表）の変更案について
 8. 保育園利用者の実費にかかる利用者負担金の変更案について
- ・報告事項
理事長専決事項執行状況について

評議委員会開催報告

①第1回 定時評議員会

- ・開催日時 令和1年6月14日（金）午後7時
- ・出席者 評議員4名（欠席2名） 理事長 事務局員
- ・議案
 1. 平成30年度計算書類及び財産目録の承認について
 2. 社会福祉充実計画について
 3. 役員・評議員報酬規程の改定について
 4. 議事録署名の選任について

さつき保育園

平成31年（令和元年）度は、前年度から引き続き産休、育休に入った職員が4名で、そのうち1名は4月に復帰いたしました。他の保育士も職場復帰を希望しているので、その間の保育士の補充には派遣会社や紹介会社を利用し、保育士不足にならないよう保育士の充足に努めました。

保育の取り組みとして、運動会、作品展、生活発表会においては、学年ごとに子どもの成長を感じられる感動の行事となりました。

また、地域の交流会としては、園で行うさつきカーニバル、近隣公園で毎年行われるさくらフェスティバル、区の福祉関係事業所が参加して行われるふれあいフェスタ、世代間交流会、定期的に行われる本庄公園清掃活動など、地域の方たちとの交流を深め、地域福祉活動を意欲的に取り組みました。

令和2年2月ごろからはコロナ感染防止のため、登園自粛に協力していただける保護者も多くなりました。国、大阪市、保健所の指導の下、動向を見ながら迅速に対応を進めています。

平成31年度も保育士の入れ替わりがあったのでスキルの低下にならないよう、年間キャリアアップ研修計画を立て、園外、園内研修に参加しました。

また保育士処遇改善を行うことで、働きやすい職場環境、保育環境を整えていきます。

利用人数

1、入所児童	認可定員 259	年間延べ人数 2,848名
2、延長保育		年間延べ人数 801名
3、一時保育		年間延べ人数 298名
4、障害児		9名

活動報告

	行 事
4 月	第 6 5 回入園式・花まつりの集い・こいのぼり掲揚、集い・さくらフェスティバル・保護者会総会・クラス懇談会
5 月	春の遠足・降誕会
6 月	内科、歯科検診・虫歯予防の集い・保育参観・さつきカーニバル
7 月	プール開き・午睡開始・七夕の集い・お泊り保育（年長）・
8 月	地藏盆・地域地藏盆
9 月	保護者会総会・クラス懇談会
10 月	運動会・区民カーニバル鼓笛隊出場・秋の遠足・子育て支援ほっこりタイム
11 月	作品展・ふれあいフェスタ
12 月	もちつき大会・成道会の集い・内科検診・たこあげ大会
2 月	生活発表会・涅槃会（コロナのため中止）
3 月	ひなまつりの集い・内科検診・年長児本山参拝（コロナのため中止） ・お別れ遠足・第 6 5 回卒園式

（毎月の記事）

お誕生会・避難訓練・年長年中鼓笛、和太鼓音楽指導・3、4、5 歳児絵画教室・園便り、献立表発行・コスモ体操(3、4、5 歳)・学研教室(4、5 歳)・仏参食育便り発行・実習生受け入れ・絵本の会

北区障がい者相談支援センター IKUTAS

北区障がい者基幹相談支援センター

平成30年度に、職員が一新しました。これにより年度の後半には、実質的にこなせる業務量が受託業務、計画相談ともに減少しました。しかし、これは法人のカラーを維持するために必要な時間であったと考えており、おかげで令和になり、役割に責任を持ちながら、少しずつ元の業務量に近づいてきている現状です。

人の心に寄り添い、当事者の立場に立って支援方法を考える姿勢を大切に、各相談員が持っている力を存分に発揮できる職場にしていきたいと考えています。

●大阪市受託業務

平成30年度から第3期受託期間となり、障がいを抱える人々を地域の一構成員として捉えた上で、社会構造の改善、関係者意識の改革など、環境の再構築に重点を置いた具体的に取り組んでいます。

平成29年度には「地域力を知ろう」と題して、社会福祉協議会や振興町会の役員等と共に、障がい福祉サービスとの協働を目指していましたが、今年度は地域との共存を図るため、事業所の周知に力を入れてきました。

北区地域自立支援協議会のこども部会では、放課後等デイサービスや児童発達支援の事業所の一覧を作成し、区役所や相談支援事業所などに配付しました。

相談支援部会では、事例検討会を開催しながら相談員の質の向上を重要課題として取り組んできました。

事例では、精神障がいを抱え病気に苦しんでおられる方に対する電話対応に重点を置き、病状悪化の軽減に努めました。必要であれば自宅や学校などにも積極的に赴き、生活実態を把握しながら支援することもありました。

成年後見制度の利用支援も2件行い、当事者の声を聴き、関係機関と連携をとりながら権利擁護に対して必要な取り組みを行ないました。

平成28年度から実施しているハローワーク梅田での「就労系福祉サービス事業体験説明会」は、毎回多くの来場者が訪れる事業になりました。平成30年度は188名の来場で、協力事業所はのべ131事業所でした。年々増加する背景には、常に当事者目線に立って工夫していることが挙げられると思います。

●計画相談、障がい児相談業務

「イクタスでお願いしたい」という声は、未だに多く聞かれ、ありがたいと思いますが、年度後半にそれまでの相談員が退職し、新人に移行したことで、相談員の負担量も調整しながら、現在実施しています。結果的には前年に比べ、契約数はかなり落ち込んでいますが、契約している障がい者・障がい児に迷惑がかかることにならぬよう十分配慮しています。法人の方で相談員を少なくとも3～4名体制にして、事業所体制加算も取り、安定的な事業運営を検討していただいているところですが、求人問い合わせがなく苦戦していると伺っており、法人に貢献できるような事業所運営ができるよう努力したいと思います。

Ikutas kids

平成 30 年度の定員は 20 人で、4 月から 9 月の間は 1 日の利用人数の平均が、ほぼ 19 名と安定し、曜日によれば定員を超える日が出てきました。

更に療育を希望する人数が増えてきたため、平成 30 年 9 月に法人が学習に特化した事業所として Ikutas kids Next を開設しました。

これまで Ikutas kids で学習支援をしていた利用者が Ikutas kids Next に移ることになり、9 月からは Ikutas kids の 1 日の利用人数の平均が 16 名に減りました。しかしその分、児童発達専門療育の新しい利用者の受入れが可能になりました。

また、これまで就学前の児童発達支援（言語療育、作業療育、音楽療育、ソーシャルスキルトレーニング）と、放課後等デイサービス（学習支援）を行っていたため、一日の開所時間が長くなり、職員の勤務時間をローテーション体制にしていました。新規の Ikutas kids Next は学習支援が中心のため、学校下校後の放課後等デイサービス利用者が殆どで、開所時間を 11 時から 19 時 30 分にしたことで、Ikutas kids は 9 時から 17 時 30 分に区別化することができました。

平成 27 年度の開所当時は 95%が就学前の児童発達の利用者でしたが、その子どもたちがそのまま小学校に上がっても利用していただき、平成 30 年度は利用者の半数近くが放課後等デイサービスの利用者になりました。

今後の課題として、利用者の滞留化のため新規利用者の受入れが出来ないことや、療育の種類によっては目標が見えにくくなっていることが挙げられます。

新年度は利用年数の検討や療育ごとのあり方を見直すことで、療育の目標を具体化し、より良い療育を目指してたくさんの利用者に通っていただけるような方法を考えていきたいと思います。

（１）療育した事による利用者の成長

① 作業療法

○児童発達支援

就学前の利用者様には、就学を見据えて、次のようなご要望が多く見られました。着替え（ボタン留めなども含めて）、スプーンや箸、トイレの自立、筆圧が弱いなどの日常生活動作に関すること。姿勢が崩れやすい、片足立ち

ができないなどの不器用さや姿勢コントロールの改善や、体幹筋の強化、運動発達そのものを促してほしいなどの、身体運動、運動発達の面のこと。また、落ち着きがない、集中力が続かないなどの行動傾向についての要望もありました。

こうした要望を踏まえ、触覚、前庭覚、固有覚などの様々な感覚刺激を体験することを含んだ運動遊び、

手で道具や操作をする遊びを実施してきました。またその上で、スプーンや箸、衣類のボタン留めなどの具体的な動作の練習も併せて実施してきました。さらに、ご家庭で取り組めること、接し方や声かけの方法などの提案も並行して実施してきました。

そうした取り組みを通して、スプーンや箸を効率よく使うこと、トイレ、特に排便が一人でできるよう

になること、筆圧が強くなるなど、主に日常生活動作に関して、要望に沿った変化がみられました。また、感覚刺激を体験することで、姿勢のコントロールの改善や集中力が増し、落ち着きがでてきた利用者様もおられました。

○放課後等デイサービス

就学後の利用者様には、次のようなご要望がありました。文字の理解や運筆、鉛筆の持ち方、コンパス

や定規の使い方、靴紐を結ぶなど、主に教科学習、学校生活に直結すること。縄跳びや鉄棒などの体育教科の内容に関すること。落ち着きがない、集中力が続かないなどの行動傾向に関するご要望もありました。またこうしたご要望の中には、視覚機能（眼球運動、視覚認知、視空間認知など）に関する要素も含まれていました。

こうした要望を踏まえ、触覚、前庭覚、固有覚などの様々な感覚刺激を体験することを含んだ運動遊び、

手で道具や操作をする遊び、及びビジョントレーニング（前述の視覚機能のトレーニング）を実施してきました。またその上で、鉛筆や書字、ひらがなの学習、コンパスの靴紐の結び方など、ご要望のあった動作の練習を実施してきました。

そうした取り組みを通して、手を使うことが効率よくできるようになり、書字、コンパス、靴紐を結ぶ

ことが効率よくできるようになりました。中には、家庭科の授業の裁縫がうまくなったと教師に褒められた利用者様もおられました。また感覚刺激の体験とビジョントレーニングによって眼球運動が改善し、音読がややできるようになった利用者様もおられました。

② 言語療法

発達段階に合った個別療育を行いました。呼気の調節や舌の位置や動きの

練習により、長い音節の発語が可能になったり、発音が明瞭になったりしました。課題を行う中での支援者とのやり取りで発声や発語を促し、モデルを示すことで、視線を交わしたり、要求を伝えたり、依頼や気持ちを表す身振りやことばができるようになりました。絵カードなどの視覚的な教材を用いることで、理解が促進され、日常で使うことができることばが増えました。

③ SST

〈児童発達支援〉

言葉の指示を理解する力が育ち、「今は何をする時なのか」を考えながら活動の中で集団の流れに合わせることができるようになってきました。大人の介入があれば、個々で他者を意識した対応ができるようになってきました。

〈放課後等デイサービス〉

集団活動を通して、問題解決のために他者と協力をしたり、お互いの気持ちに配慮して行動調整できるようになってきました。また、何か問題が起きた際にも、指導員（大人）に頼りきりではなく、対子ども同士で話し合い、自律的に活動できることもすこしずつ増えてきました。

④ 音楽療育

毎月季節に合った歌を歌うことにより、季節感の把握を促しました。

歌や手遊びなどの音楽を通して、発声や発語を促しました。

音符の長さやリズム、演奏記号等の楽譜の読み方を覚え、楽しみながらピアノ等が弾けるように支援しました。

ピアノや鉄琴、太鼓、リコーダー等の楽器を、楽しく演奏できるよう支援しました。音楽に合わせて歩く・止まる・走る・ジャンプする等の動きができるよう支援しました。

⑤ ABA(応用行動分析学)

療育の環境を工夫することによって、身辺自立、言葉や会話、概念、協調性、社会性のルール等のスキルが伸びるように支援しました。できる行動を増やすことによって、自信がついてきました。

⑥ 就学後の学習支援

予習、復習、宿題、作文等の課題を行う中で、興味のある領域を見つけ、成功体験を積み重ねることで、

自信が持てるように支援しました。

苦手な学習の領域を、分かりやすく、丁寧に教え、理解してもらえるように支援しました。

小学校より、英語の授業があるので、英会話等を教えました。

(2) 職員体制

平成 31 年 3 月現在

合計 16 名

職種	業務内容	職員数
管理者・児童発達支援管理責任者	管理業務	1 名(常勤)
作業療法士・言語聴覚士・臨床心理士 臨床心理士・言語聴覚士・児童指導員	療育 療育	4 名(常勤) 11 名(非常勤)

(3) 事業所の自己評価結果等の公表

大阪市福祉局の通知があり、平成 29 年 4 月より放課後等デイサービス、平成 30 年 4 月より児童発達支援において、事業所の自己評価や保護者評価を行い、その結果と改善内容を公表することが義務づけられました。平成 31 年 1 月 8 日～平成 31 年 2 月 8 日まで、保護者に対してアンケート調査を行いました。その結果に基づき、事業所の自己評価や保護者評価を行い、平成 31 年 3 月 1 日、Ikutas kids のホームページに公表しました。

概ね、好意的な保護者の意見が多かったです。家族支援プログラムに参加したいという意見がありました。今後、Ikutas kids で、ペアレントトレーニングの研修を行うことも考えています。

(4) 事業所の利用状況(平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月)

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	年計
開所 日数 (日)	22	23	23	23	20	19	23	23	21	19	20	21	257
延べ 人数 (人)	413	437	439	434	366	322	395	383	325	296	310	338	4,458
1 日の 平均人 数(人)	18.7	19	19.0	18.8	18.3	16.9	17.1	16.6	15.4	15.5	15.5	16.1	17.3

※年間の 1 日の平均利用者数 17.35 名

登録利用者数 99 名(平成 31 年 3 月 31 日現在)

Ikutas kids Next

(はじめに)

平成 30 年 9 月 1 日より、専門的な療育を実施している Ikutas kids (イクタスキッズ) の次の場所として、Ikutas kids Next (イクタスキッズネクスト) が開所されました。ネクストでは、就学後に保護者の方がもっとも心配をされている課題に挙げられている学習の支援を中心に療育を行っております。

(施設概要)

定員	10 名
開所時間	11 時～19 時 30 分
場所	大阪市北区豊崎 6-2-7 マツダビル 3F
職員体制	管理者兼児発管 1、児童指導員 4 (うち常勤 2、非常勤 2)
児童発達支援	就学前の児童
放課後等デイサービス	就学後～18 歳未満の児童

(利用状況)

開所日数 135 日、延べ人数 735 人、1 日あたりの利用人数 5.44 人 (うち児発利用率 3.40%)

※利用登録者数 26 名 (平成 31 年 3 月 31 日時点)

学習支援ということもあって、利用者の層は小学生以上が 8 割以上を占めています。

(療育体系)

「週 1 日 1 時間」「個別」の療育を基本とし、ひとりひとりの成長に合わせた療育を行っています。ネクストでは、元教員等の経験豊富なスタッフで学習支援を行っています。ひとりひとりの得意なところ、つまづいているところは違っており、それぞれの強みや興味など療育をしながら見つけていき、また興味などを引き出しながら、それぞれに合わせた療育を行っています。

療育にあたっては、個々のスタッフの経験や研鑽によるところが多いため、事業所の資産として帰属できるよう、所内での情報共有をより一層図っていく必要があります。また他事業所や学校をはじめとした他機関との連携や情報共有については、今年度は実施することができなかったため、自立支援協議会 (こども部会) への参加をはじめ、相談支援事業所との連携、相互理解を深めていき、事業所間を超えた支援チームの形成を進めていくことができれば、より効果的な療育を実施することができるかなと考えています。

(苦情受付等)

0 件でした。

(その他)

利用者を含めた避難訓練など計画的に行うことができなかった。今年度は非常時の対応や参加希望者を含めた避難訓練等を計画的に行っていきます。

ヒヤリ・ハットなどを意識して、事故やケガなどに敏感な事業所づくりを心がけていきます。